

令和 7 年 度

まちづくり懇談会議事録（主旨要約）

阿久比町総務部企画広報課

令和7年度「まちづくり懇談会」議事録（主旨要約）

- 日 時 5月23日（金）午後7時～午後8時
- 会 場 アグピアホール（中央公民館多目的ホール）
- 参加者 町側10人、地区側22人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

今年の初めに鶏インフルエンザが発生した。知多半島内で13か所、町内ではうずらの養鶏場で確認され、対処のため愛知県だけでなく、自衛隊も派遣される事態となった。事業を再開するには最低でも1年はかかるということで、大変な苦労をされていると聞いている。

卵の価格が上昇したとともに、お米の価格も上昇している。備蓄米が放出されるということだが、安いお米が届くのか心配している。

世の中で起きている様々なことを念頭にいれつつ、町民の福祉のため邁進していきたい。

3. 重点施策

（資料を基に説明）

○自然と調和した心地よさが感じられるまちづくり

- ・市街地整備推進事業
- ・道路改良事業

阿久比駅周辺の市街化推進、道路改良を進める。

○豊かな自然と共生する安全・安心なまちづくり

- ・災害対策事業

災害時に避難所となる阿久比中学校体育館に空調を設置する。発災後すぐに罹災証明書を発行できるシステムを導入する。高度情報通信ネットワークシステムのデジタル化を進める。

- ・カーボンニュートラル推進事業

家庭用電池システム等の補助、施設のLED化を進めていく。

持続可能な航空燃料SAF（Sustainable Aviation Fuel）のため、家庭系廃食用油の回収を行う。

○ともに生きる健康・福祉のまちづくり

- ・こども家庭センター事業

「こども家庭センター」を設置し、出産から子育てまで一体的に支援する。

- ・重層的支援体制整備事業

高齢者や障がい者、生活困窮者など、複数の部署にまたがる相談を一体的に対応するこ

とのできる体制を整備する。

○ひとが輝く教育・文化のまちづくり

・阿久比スポーツ村整備事業

2026年に開催されるアジア競技大会において、サッカーの練習場となる陸上競技場の芝生とトラックを改修する。

町民が集い活動できる拠点となるよう、スポーツ村全体の基本構想を策定する。

○未来へつなぐ産業のまちづくり

・企業立地推進事業

町内に企業用地を取得し、企業を誘致していく。愛知県から派遣されている職員の指導のもと、愛知県と協力しながら進めていく。

・観光振興事業

昨年度に実施した阿久比町灯籠まつり、あぐい結びの市よりみちなどを引き続き実施し、阿久比町をPRする。

○みんなの思いがカタチを成すまちづくり

・まちづくり活動支援事業

今までの町民予算枠1%事業をリニューアルし、阿久比町みんなでチャレンジ・まちづくり事業応援制度（愛称：アグチャレ）をスタートする。申請から事業実施まで単年度で行うことのできる制度としてコンパクト化した。

・自治体DX推進事業

情報システムの標準化、議会でのタブレット端末、Wi-Fiの導入を進める。

阿久比町の人口は、陽なたの丘の開発などで増加してきたピークの約28,600人から、今年の4月1日現在で28,042人まで減少している。転入や転出で大きく差異はないが、出生と死亡の差異が大きいことが要因となっている。

人口減少を止めることは難しい課題ではあるが、いま住んでいる人が住み続けたい、これから住む人に阿久比町を選んでもらえるようなまちづくりを進めていきたい。

4. 昨年度要望への対応

虫供養事業の実施方法や負担などの検討

町指定文化財としての掛軸を守っていくため、ふさわしい方法を検討しながら、できるだけ地区の費用負担が軽減できるよう現在進めている。

また、今年度から虫供養当番地区に対する補助金を近隣市町の水準にあわせて増額した。今後も町の大切な伝統行事が次世代に引き継がれていくよう努めていく。

スポーツフェスティバルレクリエーション大会の種目や人数の見直し

参加しやすいよう令和6年度に一部競技の参加条件を変更した。

例えば混合リレーでは選手数を10名から8名に縮小し、年代も男女ともに、中学生以

下2名、30代以上2名、年齢不問を4名とした。

また、その他の得点種目においても、性別や年齢、参加人数の要件を変更した。

できる限り多くの地区に参加いただくため、地区得点種目は要件を満たさない場合でもオープン参加いただけるよう案内している。

循環バスの運行等

令和6年度に実施した町民アンケートの結果を基に、再編計画（案）を策定した。新しいラインや延伸、デマンドタクシーの導入など、現在関係者で検討を進めている。

今年度は再編計画を正式に策定し、令和8年10月の運用開始に向けて、阿久比町の新しい公共交通の形を示していく。

まちづくり懇談会の議事録の早期展開

昨年度は約1か月半で町ホームページに議事録を公開した。議事録には皆さんの発言等の趣旨を要約しているため、公開まで時間をいただいている。

今年度も出来る限り早く公開できるよう努めていく。

5. 自由懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 虫供養に関する補助金が増額されたが、金額は。(板山)

答) 従来5万円から増額し、8万円とした。(副町長)

答) 文化財としての掛軸を維持するための補助金を増額している。

掛軸は12地区の持ち物であり、現在は図書館に保管されている。修復には12地区の合意が必要だが、合意形成には至っていない。町の補助金を出すこと、県の補助金を申請していくことは考えているが、まずは12地区の中で合意形成する必要がある。(総務部長)

質問) 板山地区には循環バスの停留所が1か所であり、地区の隅にあり不便である。現在検討している中で、例えば3ラインになるなど具体的な案は。(板山)

答) 現在検討している中で、板山地区の隅まで延伸する案もある。別の方法として、デマンドタクシーという形で、バスのない区間まで行き、指定する場所まで送り届けるという交通手段も検討している。(総務部長)

質問) 小中学校の特別支援学級の現状、障がいの種別、進学先について。(卯之山)

答) 東部小学校6クラス28人、英比小学校7クラス39人、草木小学校3クラス14人、南部小学校5クラス23人、阿久比中学校9クラス48人となっている。身体障害の方は比較して少ない。進学先は生徒やその保護者の希望を聞き、学校からは学校生活の様子を伝え、相互に話し合いをしながらそれぞれの将来を決めている。(教育部長)

要望) 昨年度に実施した阿久比町灯籠まつりについて、2月ではなくもう少し暖かい時期に開催してほしい。(卯之山)

答) 前回は寒波も相まり非常に寒い中での開催になった。暖かい時期に開催することも考

えだが、日照時間が長いため暗くなるのが遅くなってしまいます。今回は11月、12月ごろの開催を検討している。(建設経済部長)

質問) 企業誘致についての見通しについて。(卯之山)

答) 場所については現在検討中であり、複数の候補地はあるが絞り込みに至っていない。企業から町に年に数件の問い合わせはあるが、現在は提供できる企業用地がない。その問い合わせに対応できるよう、なるべく早く企業用地を作りたいと考えている。(建設経済部参与)

要望) 卯坂南公園について、大雨が降ると壁から泥が出てくる。液状化が心配であるため、地盤の調査をしてほしい。(卯之山)

答) 造成をした業者が2年に1回現地の調査を行っている。現在までに地盤については異常がないと報告は受けている。(建設経済部長)

要望) 卯之山児童館が老朽化しており、建て替えの希望を聞くことが多い。小・中学生、高校生の利用者が増えてきているため、建て替えを前向きに検討してほしい。(卯之山)

答) 児童館は卯之山地区にしかなく、学校区にひとつずつほしいという要望はいただいている。検討は進めているが、現在具体的な案は出ていない。(民生部長)

要望) 高岡地区に循環バスがあまり通っていない。必要としている人数は把握していないが、地区の高齢化も進んでいるため、高岡地区にも通るよう検討してほしい。(高岡)

答) 循環バスが通っていない地区については、デマンドタクシーを利用する案もある。引き続き検討していく。(総務部長)

提言) 自転車のマナー向上について、スポーツ村から降りてくる坂道で、暴走する学生がいる。住宅が増えてくる中で暴走すると重大な事故につながる。教育関係の部署の方に啓発をいただきたい。また、役場から北に向かう幅広い歩道でも、自転車が横1列で走行しているときがある。歩行者が通るスペースがないこともあるため、啓発していただきたい。ゼロの日に行っている交通立哨について、横断歩道から5mほど空けない位置に立っていると運転者から非常に見にくい死角となり、10人ほどが横1列に並ぶと10mほどの死角ができてしまう。交通立哨の際には横断歩道から離れ、間隔を開けていただきたい。気を付けながら交通安全に努めていただきたい。

5. 閉会あいさつ

多くのご意見、ご要望をいただきありがとうございました。なるべく早くまとめまして、ホームページに公開したいと思っております。本日はお疲れでございました。以上をもちまして本日の懇談会を終了させていただきます。(副町長)

令和7年度「まちづくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時 5月30日（金）午後7時～午後8時
□会 場 宮津公民館
□参加者 町側11人、地区側27人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため、省略（5月23日（金）アグピアホール参照）

3. 重点施策

同趣旨のため、省略（5月23日（金）アグピアホール参照）

4. 昨年度要望への対応

公園樹木の剪定・伐採

令和6年6月に山田東公園、山田中央公園の樹木の伐採を行った。伐採に協力いただいた宮津山田地区に感謝を申し上げる。

公園の樹木を剪定・伐採するか、伐根するかは、現地の状況によって大きく影響され、一定の基準を設けることは難しい。

現在は「各自治会の要望」として、行政協力員から要望書を提出いただく形で運用している。

循環バスの運行等

令和6年度に実施した町民アンケートの結果を基に、再編計画（案）を策定した。新しいラインや延伸、デマンドタクシーの導入など、現在関係者で検討を進めている。

今年度は再編計画を正式に策定し、令和8年10月の運用開始に向けて、阿久比町の新しい公共交通の形を示していく。

阿久比川サイクルロード（宮津側）の堤体（ていたい）の草刈り

要望いただいたお話を愛知県へ伝達した。

5. 自由懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

要望）オアシス大橋の整備について、草や竹が多く茂り見通しが悪く、通行に支障をきたすため改善してほしい。（宮津団地）

答）管理者である愛知県に伝えていく。（建設経済部長）

要望）宮津団地跡地付近の歩道が狭いため、広さを確保してほしい。（宮津団地）

答) 後ほど詳しい場所を教えてください。(建設経済部長)

要望) 民生委員の報酬の増額と認知度の向上を推進してほしい(宮津)

答) 厚生労働省からも活動内容がハードであるため少しずつ減らすように、ということは言われている。なるべく負担を減らしながら、民生委員になっていただける方が一人でも増えるよう努めていく。(民生部長)

要望) 行政協力員について、今までどおりの業務では今の時代に合っていない。時代に沿うような形になっていくよう、今後も検討をしてほしい(宮津)

答) 行政協力員からいろいろなご苦勞は伺っている。今すぐに何ができるか回答は難しいが、職員と皆さんとの話し合いのもと、よりよい関係を築いていきたいと考えている。(総務部長)

質問) 耕作放棄地の活用について(陽なたの丘)

答) 所有者から耕作者が農地を借り受けし、耕作を行っているケースが多い。地理、区画などの問題で耕作がしにくい土地は敬遠されてしまう。それぞれの農地の将来を決める地域計画を策定しているが、決まらない場所もある。

例えば、多面的機能支払交付金を活用して、耕作放棄地の解消などもやっていただいている。宮津の方で耕作放棄地を水田に復活させたということもある。現在農業に関わっていない人であっても、今後農業をする可能性もあるため、検討しながら耕作放棄地の解消に努めていく。(建設経済部長)

質問) 町内の空き家の件数と今後について(陽なたの丘)

答) 現在公表している結果は平成 30 年時の調査で 208 件。最新の件数は、今後調査を行い把握していく。

空き家の対策として令和 2 年 3 月に空き家対策計画を策定し、この計画に沿った対応が基本的な考え方である。空き家をリノベーションして付加価値をつけることは素晴らしいが、行政が主体としてではなく、民間と連携をしていく方が現実的である。町としては空き家バンクのマッチングを促進する PR を進めている。

改修等は空き家を買った方が行うのが理想的。空き家問題は全国的な問題になっており、国の方針に合わせて計画の見直しを図っていく。(建設経済部参与)

要望) 竹林の整備を所有者だけの責任ではなく、地域防災の観点から行政も協力するよう検討してほしい(宮津)

答) 竹林の整備は土地所有者の責任が基本である。地域でグループを作り、伐採した竹林の竹を活用する計画を作ると受けることのできる国や県の補助金もある。地域の方が竹林をどのように活用したいかなどを産業観光課の担当にご相談いただきたい。

また、補助金について農業委員会などにアナウンスしていくが、土地所有者の承諾も当然必要であるため、まずは地域でまとまって機運を高めていただくことが重要と考える。(建

設経済部長)

質問) 蟹田橋の交差点に右折信号を設置する要望の状況について (宮津)

答) 要望をしているか確認してみるが、設置されていないということは要望が通っていないということ。今後も要望していく。(総務部長)

5. 閉会あいさつ

多くのご意見、ご要望をいただきありがとうございました。なるべく早くまとめまして、ホームページに公開したいと思います。本日はお疲れでございました。以上をもちまして本日の懇談会を終了させていただきます。(副町長)

令和7年度「まちづくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時 5月31日（土）午前10時～午前11時
□会 場 草木公民館
□参加者 町側11人、地区側17人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため、省略（5月23日（金）アグピアホール参照）

3. 重点施策

同趣旨のため、省略（5月23日（金）アグピアホール参照）

4. 昨年度要望への対応

モルック大会の開催

令和7年3月16日にあぐい結びの市「よりみち」と同日開催予定で「知多半島・おへそのまち・あぐいモルック大会（第2回おむすび杯）」で、参加チームを20チームとしたところ、総勢26チーム、町内外100名を超える多くの参加希望があったが、天候不良のため中止とした。

また、令和7年5月11日に生涯学習フェスティバル「ニュースポーツ体験」として、「モルック」などのニュースポーツを紹介した。今後もモルックに親しんでいただけるよう普及に努めていく。

循環バスの運行等

令和6年度に実施した町民アンケートの結果を基に、再編計画（案）を策定した。新しいラインや延伸、デマンドタクシーの導入など、現在関係者で検討を進めている。

今年度は再編計画を正式に策定し、令和8年10月の運用開始に向けて、阿久比町の新しい公共交通の形を示していく。

公共施設の使用料

施設使用料に関する検討委員会において、引き続き検討を進めていく。

5. 自由懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

要望）草木公民館の改修にかかる費用を町から財政支援し、地元の負担が少ないようお願いしたい。（草木）

答）令和5年度に策定した計画は町内の公民館、区民館の劣化状況を調査し、今後の維持保全の方向性を示すもの。町から補助する金額は2分の1、上限400万円となっているが、

昨今の物価高騰を反映し 500 万円になるよう調整している。町も協力して、建物の保全に努めていきたい。(教育部長)

要望) 人口減少について、住宅地が増えていく方策を持ってほしい。(草木)

答) 町長の公約にもある阿久比駅周辺の整備では、にぎわいを持たせるということで、商業系のエリアをまずは進めている。その次には住居系も合わせて増やしていければと考えている。(建設経済部長)

質問) 企業誘致について、農地が多い阿久比町でも可能か。(草木)

答) 農地は基本的に調整区域であり規制が強いため開発が難しく、結果として農地が守られてきた。開発するためには法規制をクリアしていく必要がある。可能か、という点においては、ハードルは高いが可能である。町で考えている有力な手法が、企業庁による開発であり、農地関係の開発手続きにおいて優位性がある。そういった点も踏まえて関係機関とも相談しながら、企業誘致を進めていこうと考えている。(建設経済部参与)

質問) スポーツ村の改修計画について、例えば道の駅や遊具施設など、立ち寄った方がお金を落としていくような施設とする計画はあるか。(草木)

答) 天然芝の陸上競技場は知多半島でも有数の設備である。プロが使う、使ったというレガシーも受け継いで、施設利用の促進を図っていく。

これからスポーツ村全体をどのように利活用していくか考えていく。利用者や事業者へのアンケートなどで皆さんの意見を聞き、阿久比スポーツ村の今後の将来像を決めていきたい。(教育部長)

要望) 知多半島総合医療センターへのアクセス方法等を情報発信してほしい。(草木)

答) 名鉄知多半田駅から直行するバスに乗車することで、知多半島総合医療センターまで行くことができる。広報やホームページなどで続けて情報発信していく。

(総務部長)

要望) 阿久比中学校生徒の安全のため、中部工業団地北交差点付近に街路灯を設置してほしい。(草木)

答) 地区から要望を出していただくことで対応できる。防犯灯を設置する際の町からの補助は2分の1、上限2万円である。ただし、電気が通っていることが条件であるため、その条件がクリアできる箇所であれば設置を検討する。(総務部長)

要望) 草木地区に企業誘致をお願いしたい。(草木)

答) 企業誘致の候補地などは現在決まっていない。候補地の絞り込みにおいては、法規制がクリアできるか、用地取得の見込みはあるか、廃棄物等の埋設や土壤汚染がないか、事業の採算性はあるかなどの条件をクリアする必要がある。候補地が草木地区になるかはわからないが、どの地区になったとしても地権者、地元の協力は必要不可欠であるため、今後も協力いただきたい。(建設経済部参与)

要望) 草木地区の盆踊りはコロナ禍に中止し2年前に復活した。若い方にも参加いただくため新しい取り組みを行っている。DJを招いて実施する盆踊りコンテストに町長に審査員としてお越しいただきたい。(草木)

答) 各地区の盆踊りが集中する時期である。各地区の盆踊りにも顔を出したいため確約はできないが、草木地区の新たな試みに関わりたいため、できるだけ調整する。(町長)

要望) まちづくり懇談会のスタイルを話のしやすい新しい形にしていきたい。(草木)

答) 懇談会の方式も固い感じではある。来年度の課題とさせていただきます。(町長)

5. 閉会あいさつ

多くのご意見、ご要望をいただきありがとうございました。なるべく早くまとめまして、ホームページに公開したいと思います。本日はお疲れでございました。以上をもちまして本日の懇談会を終了させていただきます。(副町長)

令和7年度「まちづくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時 6月8日（日）午後1時30～午後2時30分
□会 場 エスペランス丸山（勤労福祉センター）
□参加者 町側11人、地区側39人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため、省略（5月23日（金）アグピアホール参照）

3. 重点施策

同趣旨のため、省略（5月23日（金）アグピアホール参照）

4. 昨年度要望への対応

防災訓練時にアマチュア無線非常通信連絡会との連携

令和6年9月1日に実施を予定していた「令和6年度愛知県・阿久比町総合防災訓練」において、アマチュア無線非常通信連絡会と連携し、防災啓発会場にブースを設置してアマチュア無線交信体験を実施する予定であったが、台風接近のため防災訓練は中止とした。

5. 自由懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

要望）ミックス古紙の回収方法を地区に説明してほしい。（板山）

答）行政協力員には何らかの形で説明する。必要があれば個別にも環境課にお問い合わせいただきたい。（建設経済部長）

要望）阿久比町の飲用水を、長良川河口堰から木曾川のものへ変えてほしい。（棕岡）

答）水道水を安定的に供給するため長良川から取水している。そのようなご意見があったことは愛知県に伝える。（建設経済部長）

要望）国民健康保険税、後期高齢者医療保険料の住民負担を町が補助してほしい。（棕岡）

答）一般会計から法定外繰り入れを行うことは法律で基本的には認められていない。（民生部長）

要望）後期高齢者医療の人間ドックを補助してほしい（棕岡）

答）後ほど個別に回答する。（民生部長）

質問）前田川内の清掃を業者、または地区に委託して行う予定はあるか。（高岡）

答）川内の清掃を地区にお願いすることはない。草が河積を阻害しているなどあれば愛知

県に伝えていく。(建設経済部長)

要望) 大規模避難所に合併処理浄化槽を設置してほしい(阿久比)

答) トイレ対策は災害時に大きな問題になる。これまでの災害時における対応を勉強しながら、合併処理浄化槽が可能かも含めて研究していく。(総務部長)

答) 災害時に丸山公園運動場が車中泊の場になるという想定で、運動場に水道の栓を作った。駐車場にも貯水タンクが設置してある。町として災害時に水の関係で困ることがないよう考えていく。(町長)

要望) 木材のチップ化など、一般廃棄物のリサイクルを推進してほしい(阿久比)

答) 東部知多クリーンセンターの構成市町の会議において提案していく。(建設経済部長)

質問) 町が発展するための方針について教えてほしい。(白沢)

答) 阿久比町はこれまで名古屋圏のベッドタウンとして発展し、それはこれからも続けていく。また、スポーツ村という立派な施設があるため、スポーツ環境が整っている点も伸ばしていきたい。そのためには予算が必要だが、物価高騰で膨らむ一方で税収は増えていかない。企業を誘致して税収が増えていくよう現在進めている。

住みやすい自然の残った住環境のある利便性の良いまちが、阿久比町が進む道と考える。短い期間で結果が出せるものではないため、ご理解いただきたい。(町長)

要望) 中学生のあいさつ、部活動の時間が減っていることについて(白沢)

答) 6月16日から1週間、幼保小中高一貫のあいさつ運動を町内で行い、昨年度から中学生が防災行政無線を使って呼びかけを行っている。地域の方も生徒、児童らに対してあいさつをお願いしたい。

部活動について、加入は任意となっているものの、担当する教職員の負担になっている。地域の方に外部指導員として土日の部活をお願いする形で進めており、協力をお願いしたい。(教育部長)

要望) 若い人が活躍できるよう町の組織づくりをしてほしい(白沢)

答) 「ボトムアップ」という言葉を町長は掲げている。上司からの命令だけではなく、若い職員からも仕事を上げることのできる体制としている。今年度に組織改編をした機構改革で若い職員の意見を聞いて実施した。最終的に若い職員が答えられないものは上司に回答を求めることは普通である。若い職員は知恵を出して頑張っているのも、ご理解いただきたい。(総務部長)

要望) 防災無線が聞き取りづらいため調整してほしい(椋岡)

答) 状況を確認して対応する。(総務部長)

質問) 区会の今後の在り方について、どのように考えているか。(植)

答) 区会の協力がなければ町政を進めていくことができないため、今後も区会は必要と考える。町からは行政区に補助金を出す、町からの情報を伝えるタブレットを貸与するなどしている。今後もその他の協力が必要であれば担当と話し合い、希望に沿えば実施していきたい。(総務部長)

質問) 中学校のトイレについて改修の予定はあるか。(棕岡)

答) 中学校のトイレについては、未整備である体育館のトイレをまず改修し、その後西側のトイレを改修する方針である。現段階で改修する時期は未定である。(教育部長)

5. 閉会あいさつ

多くのご意見、ご要望をいただきありがとうございました。なるべく早くまとめまして、ホームページに公開したいと思います。本日はお疲れでございました。以上をもちまして本日の懇談会を終了させていただきます。(副町長)